

平成22年6月期 第2四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 株式会社セラーテムテクノロジー
 コード番号 4330 URL <http://www.celartem.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

上場取引所 大

(氏名) 池田 修
 (氏名) 宮永 浩明
 配当支払開始予定日 未定

TEL 03-6820-0740

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第2四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第2四半期	881	△16.7	91	—	82	—	78	—
21年6月期第2四半期	1,058	△15.8	△183	—	△211	—	△219	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第2四半期	578.44	—
21年6月期第2四半期	△2,752.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
22年6月期第2四半期	4,264	—	2,470	57.6	9,884.04	
21年6月期	1,176	—	564	48.0	7,065.53	

(参考) 自己資本 22年6月期第2四半期 2,454百万円 21年6月期 564百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	—	—	—	—
22年6月期	—	—	—	—	—
22年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	34.4	350	—	370	—	340	—	1,771.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 北京誠信能環科技有限公司) 除外 1社 (社名)
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|----------|-------------|---------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年6月期第2四半期 | 248,307株 | 21年6月期 | 79,833株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年6月期第2四半期 | —株 | 21年6月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年6月期第2四半期 | 136,544株 | 21年6月期第2四半期 | 79,833株 |

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(業績の状況)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の持ち直しなど一部で景気回復の動きが見られたものの、先行きの不透明感が払拭出来ない状況が続きました。当社の主要市場である北米においても、依然、消費の回復は見られず、失業率も高水準で推移するなど依然として厳しい経済状況にあります。

このような経営環境下において当社グループでは、新たな経営体制の下、当社グループ成長戦略を積極的に実行するとともに、全社的な営業黒字体制の確立のために取り組みました。

売上高については、北米市場の景気悪化と円高基調の為替相場の影響から、前年同期に比べ減少したものの、フロント管理分野並びに地理情報システム分野が健闘し、当初の計画を上回る売上高を達成いたしました。販売費及び一般管理費等においては、効率性向上と徹底したコスト管理を継続して行っており、その効果から前年同期に比べ大幅に改善いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間は、営業利益段階において、平成14年6月期以来の黒字化を達成いたしました。

経常利益、四半期純利益については、円高基調の為替相場相場の影響により為替差損が発生した他、北京誠信能環科技有限公司（以下、北京誠信）を買収する資金を調達するために株式交付費や特約付定期預金解約損が発生した一方、有価証券売却益等を計上したことや、営業利益の黒字化達成により、経常利益、四半期純利益においても、黒字を確保しております。

以上の結果、当社グループの連結業績は、売上高が881百万円（対前年同期比16.7%減）、営業利益が91百万円（前年同期183百万円の損失）、経常利益が82百万円（前年同期211百万円の損失）、四半期純利益が78百万円（前年同期219百万円の損失）となりました。

なお、当社は、第2四半期連結累計期間において、北京誠信を買収いたしました。北京誠信は重要な連結子会社として第2四半期連結累計期間末である平成21年12月31日から連結財務諸表に含まれております。末日付での連結であるため、北京誠信の経営成績は連結損益計算書に反映されませんが、同社の財政状態は連結貸借対照表に反映されております。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

日本は、欧米の連結子会社のコントロールを通じ、連結グループ全体の経営を行うとともに、日本市場に向けて営業活動を行っております。当第2四半期連結累計期間において売上高は13百万円（前年同期比71.4%減）となりました。営業損失は104百万円（前年同期は営業損失205百万円）となりました。なお、当第2四半期連結累計期間において売上高が大幅に減少したのは、前事業年度において不採算事業からの撤退を実施したためであります。

②北米

100%連結子会社である米国Celartem, Inc. が、オレゴン州ポートランドを拠点とするExtensis部門とワシントン州シアトルを拠点とするLizardTech部門を有し、全世界に製品を販売しております。当第2四半期連結累計期間において売上高はセグメント間の内部売上高を含めて868百万円（前年同期比14.0%減）となりました。営業利益は138百万円（前年同期は75百万円）となりました。

③欧州

100%連結子会社であるCelartem Europe Ltd. が英国ノースハンプトンを拠点に欧州市場全体に販売促進活動を行っております。当第2四半期連結累計期間において売上高はセグメント間の内部売上高を含めて59百万円（前年同期比17.9%減）となりました。営業利益は10百万円（前年同期は12百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債・純資産の状況)

当第2四半期連結累計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べて414.9%増加し3,851百万円となりました。これは北京誠信の連結子会社化により、現金及び預金、受取手形及び売掛金、棚卸資産などの流動資産項目が2,486百万円増加したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、3.7%減少し、412百万円となりました。これは北京誠信の連結子会社化により、建物付属設備、工具器具備品及び運搬具、ソフトウェアなどの固定資産項目が329百万円増加したことや、長期預金が解約にともない300百万円減少したことなどによります。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて262.5%増加し4,264百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて135.1%増加し1,438百万円となりました。これは主として北京誠信の連結子会社化により、支払手形及び買掛金、前受金、未払金及び未払費用などの流動負債項目が848百万円増加したことなどによります。

固定負債は、北京誠信の連結子会社化にともない負のれんが発生し、354百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて337.8%増加し、2,470百万円となりました。主な増加要因は、第三者割当

増資および転換社債型新株予約権付社債の権利行使により資本金が899百万円、資本準備金が899百万円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末よりも1,509百万円増加し、2,047百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は、124百万円(前年同期141百万円の使用)となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益79百万円、減価償却費26百万円等であります。

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、407百万円(前年同期21百万円)となりました。

主な要因は、北京誠信子会社化による支出723百万円(北京誠信の買収金額1,605百万円から、北京誠信が保有する現金及び現金同等物882百万円を差引いた金額)、定期預金の解約による収入297百万円等であります。

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は、1,799百万円となりました。

主な要因は、株式の発行による収入1,679百万円によるものであります。なお、前年同期に獲得・使用した資金はありません。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年6月期の連結業績予想につきましては、平成21年12月22日に公表した数値からの変更はありません。今後、業績予想の見直しの必要性が生じた場合は、速やかに業績予想の修正に関するお知らせを發表いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

第2四半期連結会計期間より、北京誠信能環科技有限公司等5社を新たに子会社化し、連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日が当第2四半期連結累計期間末日であるため、当第2四半期連結累計期間においては、北京誠信等の四半期貸借対照表のみを連結し、四半期損益計算書は連結しておりません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,253,184	396,104
受取手形及び売掛金	508,393	168,444
有価証券	71,036	142,216
たな卸資産	844,026	2,540
前渡金	128,304	—
前払費用	22,559	36,460
短期貸付金	92,070	96,020
その他	35,594	14,454
貸倒引当金	△103,444	△108,206
流動資産合計	3,851,725	748,036
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	87,179	3,283
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	105,098	46,104
有形固定資産合計	192,278	49,388
無形固定資産		
特許権	9,919	10,185
ソフトウェア	99,694	28,840
その他	506	506
無形固定資産合計	110,120	39,532
投資その他の資産		
長期前払費用	2,728	3,183
長期預金	—	300,000
差入保証金	97,050	26,120
供託金	10,205	—
その他	—	9,939
投資その他の資産合計	109,984	339,244
固定資産合計	412,383	428,165
資産合計	4,264,108	1,176,201

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	125,613	29,215
未払金及び未払費用	265,567	133,250
未払法人税等	19,636	7,426
前受金	588,051	—
前受収益	418,192	370,242
返品調整引当金	802	781
事業再編引当金	—	12,371
その他	20,618	58,593
流動負債合計	1,438,482	611,882
固定負債		
負ののれん	354,788	—
固定負債合計	354,788	—
負債合計	1,793,270	611,882
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,755,989	3,856,151
資本剰余金	4,314,188	3,414,351
利益剰余金	△6,354,035	△6,433,018
株主資本合計	2,716,142	837,484
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△261,865	△273,422
評価・換算差額等合計	△261,865	△273,422
新株予約権	9,490	256
少数株主持分	7,069	—
純資産合計	2,470,837	564,318
負債純資産合計	4,264,108	1,176,201

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,058,525	881,627
売上原価	82,242	24,755
売上総利益	976,282	856,872
販売費及び一般管理費	1,159,827	765,501
営業利益又は営業損失(△)	△183,544	91,370
営業外収益		
受取利息	10,143	285
有価証券売却益	—	5,890
その他	339	1,448
営業外収益合計	10,483	7,624
営業外費用		
為替差損	37,960	8,125
株式交付費	—	8,868
営業外費用合計	37,960	16,993
経常利益又は経常損失(△)	△211,021	82,001
特別損失		
固定資産除却損	247	—
投資有価証券売却損	556	—
特約付定期預金解約損	—	2,257
支店閉鎖損	7,555	—
特別損失合計	8,359	2,257
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△219,380	79,744
法人税、住民税及び事業税	346	761
法人税等合計	346	761
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△219,726	78,982

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△219,380	79,744
減価償却費	36,210	26,000
特約付定期預金解約損	—	2,257
支店閉鎖損失	7,555	—
のれん償却額	16,485	—
固定資産除却損	247	—
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	556	—
有価証券売却損益(△は益)	—	△5,890
為替差損益(△は益)	1,125	428
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,883	△309
受取利息及び受取配当金	△10,143	△285
売上債権の増減額(△は増加)	15,979	△9,869
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,902	△10,566
その他	5,827	44,376
小計	△148,554	125,886
利息及び配当金の受取額	10,143	285
法人税等の支払額	△3,347	△1,688
営業活動によるキャッシュ・フロー	△141,758	124,483
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△64,200
有価証券の売却による収入	—	70,090
有形固定資産の取得による支出	△24,365	△11,009
無形固定資産の取得による支出	△1,114	△2,198
長期前払費用の取得による支出	△511	△196
差入保証金の回収による収入	4,268	22,428
差入保証金の差入による支出	—	△7,048
定期預金の払戻による収入	—	297,742
投資有価証券の売却による収入	533	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△723,265
その他	—	9,939
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,188	△407,717
財務活動によるキャッシュ・フロー		
転換社債の発行による収入	—	120,000
株式の発行による収入	—	1,679,675
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	1,799,675
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,204	△6,967
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△168,151	1,509,473
現金及び現金同等物の期首残高	770,588	538,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	602,437	2,047,794

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当社グループはソフトウェア関連事業並びにこれらに付帯する業務の単一事業であります。したがって、開示対象となるセグメントがありませんので、記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年7月1日 平成20年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	47,319	1,003,605	—	7,601	1,058,525	—	1,058,525
(2) セグメント間の内部売上高	—	6,159	72,896	—	79,056	△79,056	—
計	47,319	1,009,764	72,896	7,601	1,137,581	△79,056	1,058,525
営業費用	252,802	934,716	59,998	35,357	1,282,874	△40,804	1,242,070
営業利益又は 営業損失(△)	△205,482	75,047	12,898	△27,756	△145,293	△38,251	△183,544

当第2四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 平成21年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	13,530	868,097	—	—	881,627	—	881,627
(2) セグメント間の内部売上高	—	244	59,851	—	60,096	△60,096	—
計	13,530	868,341	59,851	—	941,724	△60,096	881,627
営業費用	117,758	729,720	49,051	—	896,530	△106,273	790,256
営業利益又は 営業損失(△)	△104,277	138,621	10,799	—	45,193	46,177	91,370

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

北米……………米国

欧州……………イギリス

アジア………韓国

なお、韓国の拠点は平成20年12月をもって閉鎖されました。そのため、当第2四半期連結累計期間において、アジアのセグメントの活動はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年7月1日 至平成20年12月31日）

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高（千円）	698,778	274,989	43,936	1,017,705
II 連結売上高（千円）	—	—	—	1,058,525
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	65.9	26.0	4.2	96.1

当第2四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 至平成21年12月31日）

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高（千円）	626,034	217,556	24,139	867,729
II 連結売上高（千円）	—	—	—	881,627
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	71.0	24.7	2.7	98.4

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

北米………米国、カナダ

欧州………フランス、イギリス他

その他………韓国、中国、台湾他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年12月16日付で、WEALTH CHIME INDUSTRIAL LIMITEDから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結会計期間において資本金が749,775千円、資本準備金が749,775千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が4,755,989千円、資本準備金が4,314,188千円となっております。